

寄贈図書リスト

シリーズ現代の天文学5 銀河I [第2版]—銀河と宇宙
の階層構造, 谷口義明 岡村定矩 祖父江義明編,
日本評論社, A5判, 384ページ, 2,800円+税

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

原稿はe-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛に, テキストデータとして扱える形式でお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

核融合科学研究所助教

1. 助教1名
2. (1) ヘリカル研究部基礎物理シミュレーション研究系プラズマ粒子シミュレーション研究部門
(2) 岐阜県土岐市下石町322-6
3. プラズマ物理学
4. 基礎物理シミュレーション研究系では, プラズマ・核融合における物理過程の先端的シミュレーション研究, およびその基盤研究としての新しいシミュレーション手法, スーパーコンピュータ利用技術, 実3次元可視化などの高度化を通じて, 数値実験炉研究プロジェクトを推進している。
今回公募する助教には, 海外の研究機関に所属する研究者と協力して, 磁気再結合やプラズマ粒子加速などの核融合および他のプラズマ関連分野に共通する微視的プラズマ現象をプラズマ粒子シミュレーションにより解明することを求める。なお, 本助教は平成30年8月1日発足の自然科学研究機構国際連携研究センターの併任となることを想定している。
5. (1) 2019年4月1日以降のできるだけ早い時期
(2) 任期5年, 年俸制, 再任可

6. 博士の学位を有すること (見込み含む) 等
7. ((2)-(5) については6部必要)
 - (1) 履歴書: 原則として市販の用紙を使用し, 可能な就任時期も明記すること。(写真貼付, 取得学位名を明記のうえ, 連絡先にe-mailアドレスを記入すること。)
 - (2) 研究歴: 任意の様式による。2,000字程度。
 - (3) 就任後の抱負: 任意の様式による。2,000字程度。
 - (4) 研究業績発表論文リスト: 共著の論文については, 共著者名をすべて記入すること。また, それぞれの論文について, レフリーによる審査(査読)を経たものであるか, 否かの区別を明確にすること。また, リストとは別に, 主要な論文についてはその概要と本人の寄与についてまとめること。(任意の様式による。)なお, リスト作成にあたっては, 当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページURL:<http://www.nifs.ac.jp/jinji/>)に掲載)によること。
 - (5) 論文別刷: 主要な論文(学位論文および投稿中または投稿予定を含む。)3編以内の別刷を添付すること。(別刷がない場合はコピーでも可)
 - (6) 推薦書: 推薦者がある場合は推薦書, 又は応募者について参考意見を述べることでできる方2名程度の氏名および連絡先を記載した文書。いずれも, 任意の様式による。
8. 応募締切: 平成30年10月12日(金) 17時(必着)
9. (1) 〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
(2) ・提出書類について
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
電話 0572-58-2013 (直通)

- ・研究内容等について
核融合科学研究所ヘリカル研究部基礎物理
シミュレーション研究系
研究主幹 教授 石黒静児
電話 0572-58-2540 (直通)

10. 封筒の表に「基礎物理シミュレーション研究系プラズマ粒子シミュレーション研究部門(助教)公募関係書類」と朱書し、郵送の場合は簡易書留とすること。
11. 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性を採用します。詳細は以下を参照ください。
URL: <http://www.nifs.ac.jp/jinji/>

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所准教授

1. 准教授, 1名
2. (1) 宇宙科学研究所・宇宙物理学研究系
(2) 相模原キャンパス(相模原市)
3. 宇宙物理学
4. JAXA 宇宙科学研究所では、2020年代に実現することを目指す戦略的な衛星計画の検討を進めています。宇宙物理学分野においては、「宇宙はどのように始まったのか」、「宇宙はどのように進化したのか」を理解することを目的とし、とくに、宇宙初期からの宇宙の構造の形成過程とその普遍性・多様性の解明という主要課題にとりくむため、X線から赤外線、電波まで多波長にまたがる観測手法を用いた衛星計画を推進しています。

宇宙基本政策・宇宙科学の工程表に則ったJAXA戦略的中型衛星計画として、まず、2020年度打ち上げを目標にX線分光撮像衛星(XRISM,平成30年7月のJAXAプロジェクト化においてX線天文衛星代替機=XARMより改称)の開発を進めています。X線分光撮像衛星では、ASTRO-H衛星で端緒をつけるにとどまった精密X線分光観測を実現し、その科学目的に沿った研究を大きく発展させることが最優先の課題となっています。これに続く計画として、宇宙マイクロ波背景放射偏光観測衛星LiteBIRD,そして次世代大型赤外線衛星SPICA計画を推進しており、これらの将来計画の検討を着実に進め、その実現性を高める研究開発を行うことが、JAXA宇宙科学研究所の重要な目標となっています。これらの計画においては、いずれも試験・検証を含む極低温における検

出器技術が主要な役割を果たしており、その技術と経験の蓄積を踏まえた発展が期待されます。

本公募では、X線分光撮像衛星計画に主体的に取り組み、プロジェクトの重要な役割を担当してこれを推進するとともに、宇宙科学研究所が進める将来の戦略的・宇宙物理学衛星計画(Lite-BIRD,または、SPICA)の推進にも積極的に役割を果たすことができる人材を募集します。X線分光撮像衛星XRISMは、米国NASAをはじめとする協力機関との共同のもと、国内外の多くの研究者の協力で開発が進められています。本公募で期待する人材には、特に、ミッション機器であるX線マイクロカロリメータ装置(Resolve)開発における試験・検証をリーダーシップをもって推進できる人を求めます。

具体的には、少なくとも以下のような職務を担ってもらいます。

- (1) X線分光撮像衛星XRISMのミッション系機器、特にX線マイクロカロリメータ装置(Resolve)が要求性能を発揮できるようその開発・試験を推進する。
 - (2) X線分光撮像衛星XRISMに続く将来の天文衛星の計画検討、特に極低温での検出器技術が必要とされるLiteBIRD計画、またはSPICA計画の推進に従事する。
 - (3) JAXAがもつ大学共同利用の役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともにJAXA内の各種活動に積極的に参加し、専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献する。また、大学院学生の教育・指導を実施する。
- 上記のような職務を実行するにあたって、今回募集する准教授は少なくとも次のような要件を満たすものとします。
- (1) 衛星搭載ミッション機器の開発経験を有すること。特に極低温で動作する機器の較正・性能評価の十分な経験を有することが望ましい。
 - (2) 天文学・宇宙物理学研究において優れた実績を有し、将来の宇宙物理ミッションにおいてリーダーシップを発揮できる能力を有すること。
 - (3) 大学院生の教育・指導を実施する能力を有すること。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。
 - (2) 任期なし。63歳定年制。
 6. 博士号を有すること

7. (1) 履歴書
- (2) 研究歴
- (3) これまでの研究概要
- (4) 論文リスト
- (5) 今後の研究計画（プロジェクトへの貢献についての抱負を含む）
- (6) 外部研究資金獲得実績（外部資金の種別、金額、研究代表／分担を明記すること）
- (7) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方2名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方2名の氏名と所属、連絡先（電話番号、電子メールアドレス）
- (8) 主要論文の別刷5編以内（査読付き学術誌に掲載されたものに限る）

※以下は欧州経済領域（EU圏）在住者のみ、提出してください。

- (9) EU一般データ保護規則（GDPR）に基づく個人情報の取扱に関する同意書（様式1）以下の8.にあるWebサイトから電子的方法によりダウンロードしてください。
8. 下記Webサイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1533623762>
提出にあたっては、上記webサイト上の指示に従ってください。

9. 2018年10月15日（月）9時30分（日本時）必着
10. 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
宇宙物理学研究系主幹 山田亨
電話：050-3362-2463
e-mail: yamada.toru@jaxa.jp
ただし、上記「8.」に関する問合せ先：
科学推進部人事担当
電話：050-3362-2695
e-mail: ISAS-JINJI@ml.jaxa.jp
11. 選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。

宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

大阪大学大学院理学研究科宇宙地球学専攻助教

1. 2018年5月号（第111巻第5号）
2. 野田博文（東北大学学際科学フロンティア研究所／理学研究科天文学専攻助教）
3. 平成30年10月1日

研究助成

2019年度笹川科学研究助成公募

■申請期間

【学術研究部門】・【実践研究部門】

2018年9月18日から2018年10月16日23:59まで

■主な募集条件

【学術研究部門】

- ・35歳以下の大学院生（修士課程・博士課程）
- ・35歳以下の任期付き雇用の若手研究者
- ・ただし、「海に関係する研究」は重点テーマとして支援し、雇用形態は問わない。
- ・助成額は、1件100万円を限度とする

【実践研究部門】

- ・博物館、NPOなどに所属している者
- ・助成額は、1件50万円を限度とする

■申請方法

Webからの申請となります。詳細は本会Webサイトをご確認ください。

<https://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

<問合せ先>

公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係

TEL 03-6229-5365

<https://www.jss.or.jp>

e-mail: josei@jss.or.jp

会務案内

日本天文学会会長候補者選挙に関する公示

2018年9月20日

選挙管理委員会委員長 青木和光

選挙管理委員会は、2019年度最初の理事会で決定される会長候補者（任期：2019-2020年度の2年間）の選挙を、定款に沿った「会長・副会長・理事・監事選考細則」に基づき、以下のとおり実施します。

推薦に関する書類は選挙管理委員会宛にお送りください。

選挙管理委員会連絡先: election_com@asj.or.jp

9月20日(木): 選挙公示

9月20日(木)–10月19日(金)(必着): 候補者募集期間

11月12日(月): 推薦された候補者が2名以上の場合、
正会員へその候補者の氏名、所信表明もしくは推薦書等、および投票用紙を発送

11月12日(月)–12月14日(金): 投票期間

12月18日(火): 開票

1. 選挙権および被選挙権を有するものは公示の時点における正会員とする。ただし、会長経験者および日本天文学会理事長経験者は被選挙権をもたない。(細則第4条)
2. 選挙に先立ち正会員から候補者を募集する。この場合正会員5名以上の推薦を必要とする。推薦に当たっては、候補者本人の承諾書、および所信表明もしくは推薦書の添付が必要である。(細則第5条)
3. 推薦された候補者が1名の場合は、投票を行わず、選挙管理委員会は推薦された候補者を会長候補者とする。(細則第6条)
4. 投票は無記名単記で行う。候補者以外への投票は無効とする。得票数の最も多いものを、最大得票を得たものが複数ある場合は、そのうちの最年長者を、会長候補者とする。(細則第8条)
5. 選挙管理委員会は選出された会長候補者を理事会、代議員に報告するとともに学会誌上に発表する。(細則第9条)

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆にあたりましては、日本天文学会HP内、「天文月報」のページにあります「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご活用ください。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtexテンプレートの中から文字コードに応じたものを、MSWordで執筆される方はword用のテンプレートをご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

訂 正

天文月報2018年8月号(第111巻第8号)の「シリーズ: 安全保障と天文学」におきまして、以下の通り誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

553ページ左段

	誤	正
2行目	萩原雄輔	萩原雄祐
3行目	虎雄正久	虎尾正久
4行目	荒木駿馬	荒木俊馬
8行目	坂田正一	坂田昌一

以上

星空市場

[意見]

「日本時間」は「日本時」と言うべきだ

「岩波国語辞典」第7版には

時刻：時の流れの、ある一瞬。時の二点間の長さを指す「時間」に対し、その一点を言う。「刻」はきざみ目の意。

とある。私たちはしばしば「時刻」のことを「時間」と言うが、科学では多義的な言葉は禁物である。理科教育では両者は厳密に区別せねばならない。

また岩波「広辞苑」第6版には
標準時：各国・各地方で常用する平均太陽時。

日本標準時：東経135度の子午線を平均太陽が通過する時刻を12時とする時刻。

とある。つまり標準時とは、ある地域の中心付近の時刻を基準とする時刻制度である。日本では明治28(1895)年の勅令167号において、これを「中央標準時」と称するよう決められ、法的にはこれが正式な名称である。しかしこれではどこの国の標準時かわから

ないので、学術上「日本標準時 (Japan Standard Time, JST)」と称している。ただし、これでは長たらしいので、略称は「日本時」でよからう。

公益社団法人・日本天文学会は文科省を動かして国会で法的に「日本標準時」を定義してもらい、同時にマスメディアには「日本時間」を「日本時」に訂正するよう要望すべきだと考える。詳しくは全国の主な天文教育施設や天文関係機関に寄贈した「佐藤明達選集」第1巻264ページおよび第6巻130ページを参照されたい。

終わりに問う、「日本時間と世界時との時差はプラス9時間である」という表現もあなたはおかしいと思わないか？

謝辞

筆者の手書き原稿をプリントしてくれた長男・佐藤満君に感謝する。

佐藤明達 (東京都葛飾区)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol111** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕 (委員長), 上野悟, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 萩原喜昭, 松田有一, 諸隈智貴, 山田真也

平成30年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2018年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)